

調査書作成について

尾道高等学校

調査書の作成方法

1 作成基準日

- (1) 第3学年の2学期末現在で記入する。ただし、2学期制の中学校にあっては第3学年の12月末現在で記入する。
- (2) 過年度卒業生については、第3学年終了時で記入する。

2 学科欄

学科欄には、志願学科・コース名を記入する。

3 番号欄

各学級の出席簿どおりの名簿番号を記入する。ただし、同一学級内で男女がそれぞれ1番から始まる番号となっている場合は、通し番号にする。

4 学習の記録欄

(1) 必修教科の「観点別」

「観点別」は指導要録における「観点別学習状況」の略記であり、「観点別」には、第1・2学年における状況を総合的に評価及び第3学年における状況を評価し、「十分満足できると判断されるもの」について、○印を記入する。

第1・2学年の①から⑤までは、次の表に示している各教科の観点を示す。

教科	①	②	③	④	⑤
国語	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
社会	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	
数学	数学への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数学的な技能	数量、図形などについての知識・理解	
理科	自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	
音楽	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力	
美術	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	
保健体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	運動や健康・安全についての思考・判断	運動の技能	運動や健康・安全についての知識・理解	
技術・家庭	生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解	
外国語	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	

第3学年の①から③までは、次の表に示している各教科の観点を示す。

教 科	①	②	③
各教科	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

(2) 必修教科の「評定」

5段階評定で記入する。なお、第1学年及び第2学年（過年度の卒業生については第3学年を含む。）については、指導要録の学習の記録の必修教科の評定をそのまま記入する。

「計」には、教科ごとに、第1学年から第3学年までの各学年における評定の合計点を記入し、「合計」には、各教科の「計」の合計点を記入する。

(3) 学習の記録の選択教科

ア 「教科名」には、中学校において開設している教科名を記入する。

イ 「評定」に当該教科の評定を記入する。評定の記入に当たっては、指導要録の記載の方法に基づいて、A、B、Cで記入する。

ウ 実施がない場合は、空欄とする。

5 行動の記録欄

第3学年の評定を指導要録の記載の方法に基づいて、○印を記入する。

6 欠席欄

(1) 「日数」については、指導要録の記載の方法に基づいて、各学年の欠席日数を記入し、「計」には第1学年から第3学年までの合計を記入する。

(2) 「主な理由」については、各学年で連続5日以上又は「計」が30日以上ある者について、その主な理由（病名等）を記入する。

7 総合的な学習の時間の記録欄

学習活動を記入し、さらに特記すべき事項を記入する。

8 特別活動の記録欄

特別活動（学級活動・生徒会活動・学校行事）の参加、活動状況のうち、特記すべき事項を記入する。

9 スポーツ・文化・ボランティア活動等の記録欄

特別活動以外のスポーツ・文化・ボランティア活動等（中学校における部活動を含む。）の参加、活動状況のうち、特記すべき事項を記入する。

10 備考欄

資格取得を記入する。その他、学習の状況、趣味、特技、将来の進路等について特記すべき事項及び受験に当たって、特記すべき事項等で他の欄に記入できないものを記入する。

11 その他

(1) 該当事項のない場合は空欄でよい。

(2) 提出に当たっては、学科・コース別とし、学級順・番号順に重ねること。

(3) 特別な事情で欠席が多い場合や、身体的特徴（頭髪等）で配慮が必要な者について、副申書（作成者記名）を添付すること。